



森澤 社長

アルファードesign（長野県東御市、森澤正良社長）は、中国市場の本格的な開拓に乗り出している。同社は部品挿入機、基板分割機、テーピングマシンなどの基板実装装置、フリップチップボンダーなど半導体製造装置、F A装置などの開発から製造・販売まで行っており、カスタム仕様にも幅広く対応している。中国市場では部品挿入機の販売を強化している。

8月下旬に中国・深圳で開催される「ネプロン・サウスチャイナ2009」にも、香港系製造装置商社のWKKを通じて同挿入機を出展した。

森澤社長は「中国は政府の内需拡大政策が効果を挙げ、部品とラジアル部品が合わせる

「Boarder Pack er AMX」は、アーキシャル部品が合わせる

「Boarder Pack er AMX」は、アーキシャル部品が合わせる

「Boarder Pack er AMX」は、アーキシャル部品が合わせる

「Boarder Pack er AMX」は、アーキシャル部品が合わせる

「Boarder Pack er AMX」は、アーキシャル部品が合わせる

「Boarder Pack er AMX」は、アーキシャル部品が合わせる

「Boarder Pack er AMX」は、アーキシャル部品が合わせる

「Boarder Pack er AMX」は、アーキシャル部品が合わせる

「Boarder Pack er AMX」は、アーキシャル部品が合わせる

「Boarder Pack er AMX」は、アーキシャル部品が合わせる

# 中国市場開拓を本格化

## 部品挿入機の販売強化

標準化した挿入ユニット

中国で現地生産検討

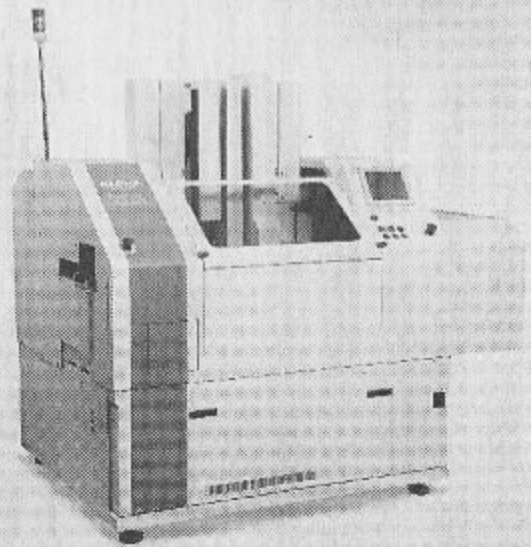
1台で挿入でき、専用挿入機のような機械間移動ロスや、挿入点数の違いによる

必要挿入ユニット単位で追加できる。異型部品は

3700品種の対応実績がある。今後は変化する部品

形状にも豊富なノウハウで自動的にサポートする。

アーキシャル&ラジアル部品挿入機



森澤社長は「タクト数をさらに上げたり、部品の種類を増やしてほしい、といった要望もある。現在は日本で生産しているが、コストを上げるため、現地での生産を検討している」と話している。